

4.SETTING OF CARBURETORS

4-2. ジェットニードル (JN)、ニードルジェット (NJ) の選定

JNとNJはPV開度1/4～3/4位の適正混合比を得るのに必要な機能部品です。この部品選定の良否は部分負荷 (ThV中間開度域) の性能に大きく影響します。この領域で混合気が薄い場合は定速走行時のサージ (ギクシャク感) や加速時の息つき・失速・ノッキングが発生し、濃い場合は点火プラグが黒くくすぶり (不完全燃焼) もたつき・ぼこつき等の加速不良が発生します。セッティングの方法としては、混合気が薄いと判断した場合はJNとNJの隙間を大きくする方向に、濃いと判定した場合は隙間を小さくする方向にJN・NJサイズを選定して下さい。

JNは先端が数段のテーパになっており、PV開度が大きくなり空気流量が増加すると、それに従ってJNと

NJとの隙間が大きくなって燃料流量も増加し、適正な混合比が保たれるようになっています。JNの頭部には5段の溝が設けてあり、Eリングの挿入位置を変えることにより燃料流量の調節が出来ます (図15)。Eリング段数と燃料流量の関係を図16に示します。

NJの影響範囲はJNの影響範囲とラップします。JNのEリング段数を1段変えると濃過ぎるか薄過ぎってしまうような場合にNJサイズを変えると効果的な調整が出来ます。

(図16・17のようにJNとNJは影響領域が異なるので注意が必要です。)

NJサイズと燃料流量の関係を図17に示します。

◎セッティングパーツ

JN、NJとも、ローマ字と数字が打刻されています。

1. ジェットニードル (図15)

〈例〉 6 E J 12 - 55

- 6: 全長60mm台。(60~69mm)
- E: 1段目テーパ角。
- J: 2段目テーパ角。
- 12: 製作追番で、サイズとは関係ありません。
- 55: ストレート径の小数点以下の値。

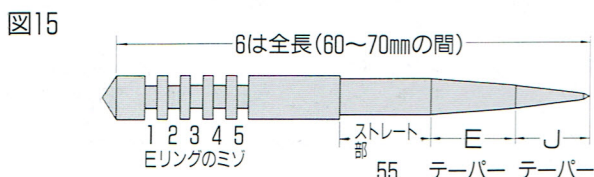
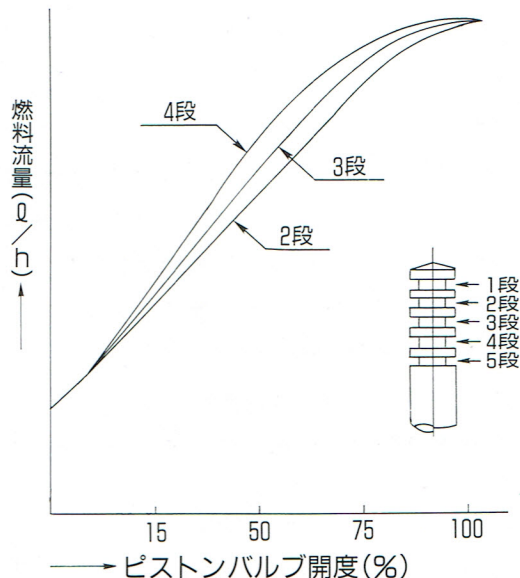


図16 ジェットニードルの流量特性



2. ニードルジェット (図18)

NJはキャブレターの種類によって異なります。大きく分けて次の二つのタイプがあります。

(a) フリードタイプ (b) プライマリタイプ
ローマ字はD→Zの順に、数字は大きいほどNJ内径が大きくなり、同じJNを使用した場合、混合気は濃くなります。(薄い←P-4<P-6<P-8<Q-0<Q-2...Q-8<R-2<R-2...→濃い)

使用するJNの外径によって大まかには3仕様に分かれています。

- ・D~E ... φ2.0のJN用
- ・N~R ... φ2.5 "
- ・X~Z ... φ3.0 "

フリードタイプ

プライマリタイプ

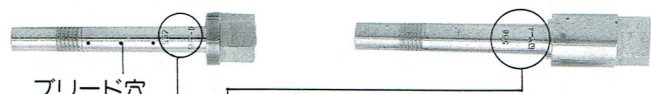


図18 この部分に3ケタの数字 (品番) とサイズ表示が刻印されています。

図17 ニードルジェットの派量特性

